

この度息子の念願叶い、サンフランシスコに本社を置くスタートアップ企業への転職が決まりました。彼はもちろん超ハッピー、でもお母さんとしてはチョット複雑です。

息子はUC Berkeleyを卒業しました。ヒッピー文化の発祥の地であり、「自由、平等、平和」を愛する風土は息子を魅了し、その精神で人生を生き抜きたいと思ったようです。私も在学中、何度か訪れましたが、ノーベル賞受賞者専用の駐車場がある事に感激したと同時に、そこに停められている車のほとんどがとてつもなくオンボロなのに驚きました。その辺の価値観が息子にはたまらなく素敵に映ったのでしょう。

卒業後アメリカでの就職を希望し、かなりの数を受けたようですが、全てうまくいかず、帰国し東京で働きました。でも今は日本からでも世界をマーケットにする就職サイトに登録し、世界に自身をアピールすれば、いつでもチャンスがゲット出来る時代なのです。転職の課題のプレゼンや面接は全てスカイプでやっていました。彼自身がアメリカに行く必要ありませんでした。

この記事が掲載される頃にはサンフランシスコで仕事人としての日々がスタートしています。アメリカで学んだ事はあっても、働くのは初めて、しかも従業員150人程度の新

『自由と自己責任とは!? —米国スタートアップ企業への息子の就職—』

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura

興企業で職種はAI(人工知能)を使ったコンサルティングという最先端分野。私には想像もつきません。何時に出社してもいいし、何時に帰ってもいい。休暇も好きなだけとっていい。でも結果を出さなければ、昇給もないし、いつでもクビです。自由度はめちゃめちゃ高いけれど、守られることのない生活のスタートです。でもこれをこなすことが出来たら、息子が今後日本企業で働くことはまずないでしょう。

彼自身が掴み取った夢の実現を素晴らしいと思う反面、このあたりは母として寂しいところです。

でも日本の大企業とアメリカのスタートアップ、まさに両極端の環境で働く経験を持つことになる息子の幅広い情報をゲットして、今後皆様にお伝え出来ればと思っています。



「35歳からのダイエット革命」
(Discover21)
定価1,404円(税込)
好評発売中



Profile

広島生まれ東京育ち。青山学院文学部英米文学科卒業。
学生時代よりコマースモデルとして活躍、その後テレビ司会者や経済インタビューとして活躍し、渡米。10年間メディア活動を休止。その間カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー(加齢学)」を学び、「エイジング・スペシャリスト」として再びメディア活動に復帰。「能動的・精神的・美的加齢法」をベースに医療や心理学、社会学等最先端情報と連携しながら、多くの方々と共に年齢を積み重ねることの楽しさ、自信、そして若々しさ、美しさを育てる「アクティブ・エイジング」を提唱する活動を行っている。現在、NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、日本抗加齢医学会正会員などで活躍中。